

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年2月12日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697200014
法人名	株式会社 EGUCHI
事業所名	グループホーム あじさい
所在地	鹿児島県肝属郡東串良町池之原1998番地1 (電話) 0994-63-5919
自己評価作成日	平成27年12月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年1月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・理念に掲げている「心と心のつうじあう介護」が実践できるよう努めています。
  - ・家庭的な環境作りとして馴染みの物を身の回りに置き、家族写真や手紙などを掲示、家族や知人の笑顔に包まれ安心できる暮らしを目指しています。
  - ・利用者様の生活歴を知り出来ることを見出し自立を高め尊厳を守りながら自立支援を目指しています。
- ・「ルーピン畑」「桜のある公園」「近隣の海岸」「ピーマン狩り」など地域の方との交流が多く図れる場所に出かけるなど生きがいを見出せて頂けるケアを目指しています。
- ・職員が働きやすい環境が整えられるよう取締役気軽に相談、改善が図られています
- ・医療連携体制の連携による健康管理、日々の健康観察にて体調異常の早期発見に努めご利用者様の健康維持に努めています。
- ・施設の勉強会や研修などに参加、職員個々の啓発に努めています
- ・災害時の避難場所に位置づけられています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、敷地内に同系列のデイサービスやショートステイなどがあり、相互協力体制が構築されている。
- ・ホームの夏祭りには住民の参加やボランティアの手伝いがある。幼稚園児との交流や中学生の職場体験学習の受け入れを行っている。地域行事の夏祭りや文化祭などにホームから参加したり散歩時に地域住民から野菜の差し入れ等があり、地域と日頃から交流を行っている。
- ・地域から介護や認知症の相談を受けたり、アドバイスをするなど地域との良好な関係が築かれている。
- ・災害対策として定期的に避難訓練を実施し、安全対策の設備や整備もされている。地域住民との協力体制もできており、災害時の避難場所に指定されている。
- ・代表者や管理者は、職員育成に力を入れて、各種研修会への出席を奨励し、職員の働く意欲を引き出している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	社長を交え職員全体で作成した理念は年1回の見直しを行い改善を図っている。また、毎月のミーティングの中で理念に基づくケアの内容、方法を職員全体で話し合い、理念の実践に向けて取り組んでいる。	理念はホールに掲示している。毎年理念について話し合い、見直しを行っている。毎月のミーティングで理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩に出かけ挨拶を交わしたり、関係作りが図れるよう馴染みの店を作り定期的に出かけたり、地域の行事には積極的に参加している。また、ホームの事や介護保険などの相談など誠意をもって支援を行っている。	ホームの夏祭りには住民の参加やボランティアの手伝いがある。幼稚園児との交流や中学生の職場体験学習の受け入れを行っている。地域行事の夏祭りや文化祭などにホームから参加したり散歩時に地域住民から野菜の差し入れ等があり、地域と日頃から交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	災害時の避難所として利用していただけるよう地域の指定を受けている。緊急処置法の研修を職員全員が受講学び地域の方々の力になるように努めている。認知症の啓発に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者の健康状態やサービス状況だけにとどまらず施設サービスの要望、助言の時間を設け意見交換を行っている。検討項目については経過を報告一つ一つ積み上げていくようにしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告などを行い、意見交換をしている。そこでの意見で、災害時に利用者の見守りを住民にも依頼するよう助言があり、提案を受けて地域とも話し合いサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>経営者、管理者は市町村へ出向き担当者との交流を図り事業所の考え、運営や現場の実情を伝える場を作っている。また、相談はその都度、市町村へ出向き行うようにしている。</p>	<p>町の担当者とは、必要に応じて電話や窓口に出向き、利用者の相談や情報を交換して助言を貰っている。町主催の研修会や交流会にも積極的に参加して協力関係を築くよう取り組んでいる。運営推進会議の際にホームの状況を見てもらう時間を設けたり生活保護の担当者とも連絡し合っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を設置、月1回は委員会を開催している。ミーティング等で身体拘束に関する勉強会や事例検討を行っている。また、外部や内部の研修会の参加に心掛けている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会でマニュアルを基本にミーティング等で事例を挙げて具体的な身体拘束の理解を深めるようにしている。ことば使いは特に注意している。家族からの拘束の要請についてはホームの方針を説明し理解を得て、拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関は昼間は施錠せずに、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	年間の研修計画の中で、高齢者虐待防止研修を計画している。ミーティングなどの機会においては常時話し合いの機会を設け、虐待廃止に向けた取り組みを実践している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	新人職員においては外部研修の機会を設け学びの場を提供する事に務めている。必要な時に支援がスムーズに行える様に啓発している。現在、対象者はいない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には十分な時間がとれるように配慮させていただき、また、解りやすい言葉で丁寧な説明を心掛けている。一つ一つ項目ごとに不明な点など確認しながら説明させていただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様やご家族の意見や不満苦情については、真摯に受け止めその都度、職員で話し合いを行いご家族様のご理解を得られるように努めています。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会や家族会・電話の折に意見を出してもらおう工夫をしている。そこでの意見や要望で、看取りについての要望が出されたことを受け、要望に沿って対応したり、家族との話し合いでセンサーを取り入れたりしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングや勉強会、各委員会を定期的で開催その中で運営に関する意見交換を行う等、コミュニケーションが容易に図れる工夫に努めている。	管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションを図り、ミーティングや会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	ミーティング、勉強会、各委員会を定期的に行う事を計画、介護の質の向上が図れるように努めている。また、個々の職員に応じた学びの機会を提供できるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画を立て職員の経験や役割に応じた研修受講を提案、受講者を選出している。受講者には定例会やミーティングなどで情報の共有が図れる機会を設けている。必要に応じて外部講師の講演を受講するなど知識、技術の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協議会に入会。研修会や事例検討会などを通し、同業者との交流をもち介護サービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用について相談があった場合は、可能な限り事前面談としてご本人生活の場でお会いし、生活状況、心身の状態、本人の思い等に向き合い、受け止めることができるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初めてサービスの相談に来られた際は、最初から利用の相談を進めていくのではなく、家族の思いに寄り添いコミュニケーションを大切にし家族の困りごとや不安な事を話せる環境を作りゆっくり聞く様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の思い状況などを確認し、ゆっくりと話を聞いた上で必要なサービスが提供できるように努めている。必要があれば他の事業所とも連携が図れることをお伝えより良いサービスの提供に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事全般にわたって出来る事を一緒に行うように努めている。昔の習慣や知識を拝聴しながら共に支え合う関係を築いていけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は利用者様の担当を定めている。家族の思いに寄り添い日々の暮らしの出来事や気付きの出来事の共有に努め、本人をご家族と一緒に支える思いで支援することに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまで大切にしていた場所や馴染みの関係を把握し関係が途切れる事が無いように向いたり、訪問して頂くなどの支援に努めている。	馴染みの店や美容室の利用及び墓参り等、家族の協力も得ながらこれまでの生活や関係を大切に支援している。友人・知人の来訪時には、居室でゆっくりしてもらおう等、訪ね易い雰囲気作りに努めている。地域行事に参加したり、手紙や電話の取次ぎなども行って継続的關係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同町内でもあり昔からの顔なじみの方もあり関係性を把握、共通の趣味や会話ができるようテーブルの位置を工夫するなど配慮している。孤立しがちな利用者様には職員が間に立ち、関わりを持てるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も必要に応じ本人と面会したり、家族にその後の状況をお尋ねするなど必要に応じ相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の言動や表情を観察し、思いや意向の把握に努めている。毎日の記録に気づきを残し職員全員が情報の共有に努めている。なんでも話せる環境を提供できる雰囲気作りに心掛けている。	日々の関わりの中で会話の中からや表情から利用者の思い等を把握している。職員も気づきを記録し、職員間の情報交換をしている。地域の新聞を読みたいとか、夫婦だけの時間を持ちたいなどの希望に、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時の面談や会話から聞き取りを行ったり、ご家族や以前利用していた事業所やケアマネなどから情報を得るなどしている。これまでの生活歴や価値観等暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	夜勤者から夜間の状態を聞き取る、本人に声掛け会話や動作の中から状態を把握するように努めている。出来ない事より出来る事に注目し、その方全体の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族の意向や要望を聞き取りやカンファレンスでの意見担当職員の意見、医師の指示やモニタリングを反映した介護計画を作成している。また、定期的にミーティングなどで再確認を行い、その意義や必要性に付いて話し合いを行っている。	本人や家族の意向を確認し、主治医や訪問看護師の意見も取り入れ、職員で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録にて、日々の身体状況や暮らしの様子、本人の言葉やエピソードなどを記録に残し全職員がいつでも確認できるようにしている。また、朝、夕の業務開始前の日誌や申し送りノートの確認を義務付けている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の要望に応じて通院や外出の支援、行政との連携など柔軟に対応している。利用者が入院時は介護情報の提示を必ず行い、医療機関との連携を図り早期退院に向けた支援を行っている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人やご家族の意見、必要性に応じて民生委員、ボランティアなどと交流や共同をに努めている。地域の事業所や商工会、町内会などとの交流の機会を継続して持てるようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族が希望するかかりつけ医を受診できるようにしており、依頼があれば受診介助を行いバイタルチェックや状態観察などを把握して医師に報告、適切な医療が受けられるように支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関の月1回の往診や24時間医療連携体制もできている。2週間に1回の歯科衛生士による口腔診療もあり、適切な医療が受けられるよう支援している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ご利用者の体調不良時や急変時は必ず看護職員と連携を取り適切な対応が出来るように努めている。日々の体調観察、訪問看護との連携にて体調管理を行い適切な医療が受けられるように支援することに努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時はホームでの情報を早期に提示するようにしている。また、できる限り面会を行い環境の変化に伴う機能低下を軽減できるように利用者との関係の継続に努めている。医療機関や家族との連携を密に行い早期退院に向けた情報提供を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>必要に応じ出来るだけ早い時期にご家族や主治医と話し合の場を設け、その時々に応じご家族、ご利用者様の意向を確認しながら対応を図っている。事業所が行っている最大のケアについて説明を行っている。</p>	<p>家族へ重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い主治医の意見を踏まえて家族に状況を伝え、看取り指針の説明をしている。状態の変化に応じて家族の意向を確認しながら、意向に沿って支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティング時や必要に応じて緊急時マニュアルに沿っての勉強会を実施、急変時に迅速に対応できるように啓発している。また、マニュアルの見直しを随時行い最良の行動ができるように研修等への参加に努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力の下年2回の消防訓練や救命訓練を実施している。運営推進会議にて地域の住民の協力を呼びかけ、協力者を得ている。また、地域の避難場所としての指定を受け入れ地域との協力関係をきずけるよう努めている。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜想定消防・避難訓練や救命訓練を実施している。隣接する同法人事業所や地域住民との協力体制もできている。地域の避難場所として指定を受け緊急連絡網に住民も登録している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置されている。災害時の水や米・黒砂糖・梅干し・菓子類などの備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使いや声掛けに際し、利用者様の尊厳重視に努め、職員の意志向上や具体的な対応方法についてはミーティングなどにおいて話し合いを行っている。委員会においても人格尊厳の重要性を学んでいる。	人格を尊重し、プライバシーに配慮している。特にトイレ誘導や入浴介助時は誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。定期的に勉強会を行って、職員の資質向上に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日課を優先するのではなく、ご本人の希望を聴き優先して行える様にしている。支援の中で自己決定が容易に行えるような声掛けに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、時間を区切った過ごし方はしていない。一人一人の体調などに考慮し出来るだけ個別性のある支援を行うようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	見出しなみやおしゃれについては、できる限り本人の意向を尊重し決めて頂く様にしている。訪問理美容にて散髪を実施。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>1人1人の好みを把握し誕生日や行事に提供している。お盆拭き、テーブル拭き、食材の盛り付け、配膳を一緒に行う等、食事に関する作業は毎食後一緒に行っている。</p>	<p>食事委員会で嗜好等の希望を把握し、誕生日や行事食・おやつはホームで調理して、食事を楽しんでもらえるよう工夫している。栄養士による献立を中心に、菜園の野菜を利用して、嗜好に添った献立や食事形態を行っている。利用者の力量に応じて、準備や片づけを職員と一緒にしたり口腔ケアも大切な日課としている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>咀嚼や嚥下状態に応じた食事の形態を主治医、訪問歯科医と相談し安全な食事形態で提供している。栄養士の作成した献立で食事を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の歯磨きの声掛けを行い、利用者に応じて見守りや介助を行っている。義歯の利用者は毎晩義歯消毒を行っている。また、訪問歯科を利用し口腔の健康管理に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的な排泄誘導を行い、トイレでの排泄に向けた支援を行っている。またそれぞれの排泄状態に応じたセルフケアを行っている。排泄チェックを行い心身の状態と排泄の関連性を考慮し観察している。	排泄チェック表でパターンや体調を把握し、個々の状況に応じて見守りや声かけ・誘導を行ってトイレでの排泄を促している。食材の工夫や水分調節・運動等で生活を工夫し、排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食前に白湯を飲んで頂く、また便通に良い食材を取り入れるようにしている。かかりつけ医に相談個々の利用者の排便状態に応じた服薬介助を行っている。また、毎日適度な運動を行い便秘予防につとめている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴介助を実施。希望時や清潔保持の必要時は随時入浴を行なえる様にしている。記録に残し定期的な入浴の行う事で爽快感を得られるように努めている。	入浴は基本的に週3回であるが、体調や希望に添った入浴ができるように支援し、午前中に実施している。利用者の希望や失禁時等にも対応している。入浴を嫌がる利用者はいない。シャワーチェアを使用したり、個浴を楽しんでいる。清潔保持の必要時は随時柔軟に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	生活リズムが整えられるよう日 中はできる限り活動を促し介助 しているが、日中もゆっくりと 休息がとれるように支援してい る。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	薬情をファイリング、全職員が 薬の内容を把握できるような環 境を提供している。薬箱を準備 、服薬時は2人で確認を行い 誤薬防止に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	家事活動において利用者様の知 恵や経験が発揮できる場面を 作るように努めている。外食や ドライブ、誕生会、行事など計 画楽しみ事に気分転換の支援が 多く行えるよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	本人の体調や希望に応じ施設 周囲の散歩や買い物に一緒に 行くなど日常的に出かける機 会を多く行える様に計画してい る。	日常的な散歩は、朝・昼2回実 施し、希望で花の水やりや夕涼 み・月見など敷地内を散歩して いる。年間計画で初詣・季節毎 の花見・ピーマン狩り・外食・ 地域の行事等で外出したり、家 族との協力で外出や外泊等を できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分の財布からお金をだし支払いができて社会性の維持に繋げる支援に努めている。利用者様の希望や力に応じた支援をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>状況に応じて、ご本人、ご家族の希望がある場合などは何時でも電話や手紙などのやり取りができるように支援している。毎月新聞を発行近況報告を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>調理の臭いやまな板の音など生活感のある家庭的な雰囲気でも過ごせる事ができるように配慮されている。玄関には四季折々の花を植え季節を感じて頂ける様に努めている。</p>	<p>玄関入り口には季節の花が植えられ、ホールは天窓からの採光で明るい。ホールを中心に、居室・キッチン・和室・トイレ等が配置されており、利用者に目が届きやすい構造になっている。換気や温度・湿度の調整がされ、掃除が行き届いている。壁には季節を取り入れた作品や写真などが飾られている。畳の談話コーナーやソファ等で、利用者はゆったりと過ごしている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居室は個室。自由に模様替えや掲示物を飾れるようになっている。毎日、環境整備を行い危険な物を排除し安全に安心できる環境作りに努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>それぞれの利用者様の好みや馴染みの物を家族に用意していたり、生活に応じて必要な物を職員で用意するなど、居心地の良い生活が送れるように努めている。</p>	<p>居室には電動ベッドと洗面台が備えられており、各自でテレビやタンス・ラック・冷蔵庫等を置いたり、ぬいぐるみや作品を飾って、本人が過ごしやすいようにしている。また、緊急時の避難路としても利用できるよう掃き出し窓になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室や浴室トイレなどご利用者様が自立した生活が安全に行える様に手すり、椅子などの環境整備にて自立支援に努めている。またご利用者様のADLの状態に応じて環境の見直しを行っている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない